

みやの地域づくりだより

発行 みやの地域づくり協議会 生活・環境部会

第40号 平成28年6月27日発行

☎928-0250 FAX928-0302 ✉miyanoti@c-able.ne.jp

『ホタルの住む町 みやの』への取り組み紹介

6月11日(土)「第32回宮野ホタルまつり」が開催され、地域の皆さんのお陰で大盛況のうちに終わることが出来ました。恒例となった宮野小学校のホタル委員会によるパネル展示も、沢山の方が足を止めて、熱心に見られていました。その中から、5年生の村田君の作文を紹介します。

ホタルの住む宮野の川



5年 村田 憲星

宮野には、夏になるとホタルが見られます。ですが今のホタルは昔に比べると数がへってきています。そこで、もし宮野のホタルがいなかったら、ということを考えてみました。

ホタルは、きれいな川に住んでいます。宮野にはホタルを守ろうと、川をきれいにしている人も少なくないと思います。ですがその守ろうとしているホタルがいなければ守る物がないので、みんな川にごみを捨てたり、川を大切にしようという気持ちがなくなったりしてしまうかもしれません。守るべき物があるから川や自然や生き物、そして宮野はきれいなんだと私は思っています。

私が、初めてホタルを見たのは、徳地の実家近くの川でした。たくさんのホタルが光りながら飛びかう姿を見て、まるで星空を見ているようだと思います。

ホタルが光りながら飛び姿は、とてもきれいです。しかし、その命は1週間から2週間ぐらいです。そんな短い命を一生けん命光りながら生きるホタルがいなくなってしまうように、川をきれいにしようと心がけてくれる人がふえてくれるといいと思います。私も、この作文がきっかけでホタルや、ホタルの住む川を大切にしようという気持ちがよりいっそう大きくなりました。

ホタルの住む宮野の川をきれいにしていくために、ごみを見つけたらひろうなどの、小さなことから始めていきたいです。

さっき書いたようにホタルの命はとても短いです。ですから、ぼく達人間も自然をそまつにせず、大切にすることで、夏の夜きれいな光で光るホタルを、宮野の大切な生き物であるホタルをずっと守っていききたいと思います。



まつりの様子

～ホタル委員会の皆さん・パネル展示場～

